▼アジョビ皮下注　［注］

【重要度】　【一般製剤名】フレマネズマブ（遺伝子組換え）　Fremanezumab（Genetical Recombination）　【分類】ヒト化抗 CGRP モノクローナル抗体製剤
【単位】▼225mg/1.5mL シリンジ・オートインジェクター
【常用量】
■4 週間に 1 回 225mg
■あるいは 12 週間に 1 回 675mg（3 本）
投与間隔変更時は変更前の次回投与予定日に行う
2 つの投与法の効果は同等
頭痛ダイアリーを適切につける
【用法】皮下注（上腕部，腹部，大腿部のいずれか）
効果判定は，4 週に 1 回の場合は 3 か月，12 週に 1 回の場合は 6 か月で評価
【透析患者への投与方法】常用量（5）
【保存期 CKD 患者への投与方法】常用量（5）
【特徴】片頭痛の原因と考えられているカルシトニン遺伝子関連ペプチド（CGRP）への抗体（αCGRP が片頭痛に関連）.
セロトニン低下により CGRP が低下するのでトリプタンは CGRP 放出を抑制，抗体は CGRP を捕捉して活性を失わせる.
投与法にかかわらず投与 1 週目から効果を認めトリプタン使用回数も減る.
50%レスポンダーが約 50%であるという.

【主な副作用･毒性】注射部位反応，過敏症，中和抗体の生成など
【安全性に関する情報】
【F】
【tmax】5～7hr（1）
【代謝】異化・分解される（1）
【排泄】分解され排泄（1）
【t1/2】33.6 日（1）
【蛋白結合率】
【Vd】
【MW】14.8 万
【透析性】除去されないと思われる（5）
【O/W 係数】
【肝障害患者への投与方法】
【小児 CKD 患者における報告】
【妊婦・授乳婦への投薬】
【主な臨床報告】
【効果発現時間】1 か月後で頻度が有意に減少（1）
【備考】頭痛の診療ガイドライン参照のこと
【更新日】20240729

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。